

1 単元名 今に伝わる室町の文化と人々の暮らし ―金閣と銀閣を調べる―

2 単元の目標

- ・教科書の資料を見ながら穴埋め式のワークシートに記入することができる。（知識及び技能）
- ・今に受け継がれている文化や産業などに着目し、金閣、銀閣のつくりの様子や文化の特色について考え、自分の言葉で表現することができる。（思考力、判断力、表現力等）
- ・室町時代の様子について関心を高め、進んで学習に取り組もうとする。（学びに向かう力、人間性等）
- ・落ち着いて、最後まで学習課題に取り組むことができる。【2－(3)】

3 単元について

本学級は、6学年男子2名（そのうち1名がA児）・3学年1名・1学年2名の在籍5名である。そのうち6学年1名であるA児は、学習に対する苦手意識や、学習以外のものへ関心が向きやすい傾向があるなど、課題はあるものの、通常学級の授業にも参加することができている。しかし、自分の思いや考えを言葉で説明したり、伝えたりすることが苦手で、自ら手を挙げて発言したり、互いの考えを共有したりすることに課題がある。

本単元は、小学校学習指導要領、第6学年の内容の（2）ア(オ)の国宝、重要文化財を通しての学習である。足利義満・義政、雪舟や代表的な文化遺産である金閣・銀閣、茶の湯や生け花、能などに着目して、写真や絵画、文化財、年表などの資料を調べ、まとめ、話し合い、今日に続く生活文化につながる室町文化が生まれたことを資料から読み取らせていく。

指導にあたっては、ワークシートを穴埋め式にすることで、自分の考えを簡単に説明したり、意見を言ったりする際に、安心して活動できるように配慮する。自分の力で資料を読み取るためにも、読めない漢字や意味の分からない語句をはっきりさせ、画像や動画を使って先に理解できるようにする。導入では、金閣や銀閣について、自分が知っている情報を確認し、人々の生活との関連について興味をもたせていく。課題を達成することができたら称賛し、達成感や自信につなげられるようにする。また、ワークシートの活動後に、地図帳を使って、京都市の金閣・銀閣探しゲームをすることを伝えることで、学習意欲を最後まで持続させていく。

4 児童の実態と個別目標

氏名	児童の実態	単元における個別指導目標
A (6年)	・必要な資料を選ぶことが難しい。どの資料を見ればよいか分かれれば、じっくりと自分で資料を見て活用することができる。 ・学習に意欲的で、声をかければ、最後まで集中して粘り強く学習に取り組むことができる。 ・自分の考えを、声に出して伝えることを練習中である。	・ヒントを受けて、必要な資料を選び、活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・相手の目を見ながら自分の考えを発言しようとする。【6－(1)】 ・他のことに気をとられずに、落ち着いて学習課題に取り組もうとする。【2－(3)】

5 指導計画と評価（4時間扱い）

- 第1次・・京都に幕府がおかれたころの様子 1時間
第2次・・金閣と銀閣を調べる 1時間

時	主な学習内容・活動	評 価
		A児
(本時)	1 コグトレワークシートに取り組む。 2 資料をもとに、金閣、銀閣のつくりの違いについて穴埋め式のワークシートにまとめる。 3 地図を使って、ポイント探しゲームをする。	・ヒントを受けて、必要な資料を選び、活用することができる。 ・自分の考えを進んで発言しようとする。 ・他のことに気をとられずに、落ち着いて学習課題に取り組もうとする。 ・最後まで学習に取り組もうとする。

- 第3次・・今に伝わる室町文化 1時間
第4次・・室町時代を生きた人々の工夫や努力 1時間

6 本時の指導

(1) 目標

ア 全体目標

- 資料をもとに、金閣と銀閣のつくりの違いについて、ワークシートにまとめることができる。

イ 個別目標

- A：○ 金閣と銀閣に関わる資料を活用して、金閣と銀閣の建造物としての特徴や足利義満や足利義政が将軍だった頃の様子について、穴埋め式のワークシートにまとめることができる。

【知識及び技能】

- 他のことに気をとられずに最後まで学習に取り組もうとする。

【2－(3)】

(2) 準備・資料

・教科書

・穴埋め式ワークシート

・パソコン

・聞く耳カード

(3) 展開

学習内容・活動	教師の指導・支援と評価（◎評価〈合理的配慮〉【自立活動】）
	A
1 はじめのあいさつをする。	・学習に気持ちを切り替えられるように、よい姿勢をとるよう声をかけ、姿勢を正して元気よくあいさつができるようにする。〈①-1-1〉
2 本時の学習内容を知る。 (1) 学習マナーの確認 (2) 学習内容の確認	・他のことに気をとられずに、落ち着いて最後まで学習課題に取り組み、また、進んで発表できるよう声をかける。〈①-2-1〉
1 ウォーミングアップ 2 今日の学習 「金閣と銀閣のつくりの違いを調べよう」 3 ポイント探しゲーム 4 振り返り	・不安な顔をしているときには、「一緒にやるから大丈夫」と声をかけ安心させる。〈①-2-1〉
3 ウォーミングアップをする。 (1) 自分のプリントに取り組む。 (2) できなかった部分を確認する。	・「コグトレ」プリントを出し取り組む。 ・できたところを称賛し、できなかった部分は確認しながら、どうすれば正しくできるか助言し励ます。〈①-2-3〉
4 今日の学習をする。 (1) 課題をつかむ。 金閣と銀閣はどのようなつくりをしているのでしょうか。	・金閣と銀閣の作りの違いについて、学習の見通しをもてるよう、課題を確認する。さらに、動画で意欲を高める。〈①-2-2〉 ・穴埋め式のワークシートを配付し、答は全て教科書見開き1ページの中にあることを伝え、ゲーム感覚で取り組めるようにする。
(2) 教科書を読む。 ①黙読しながら、読めない漢字や意味の分からない語句にアンダーラインを引く。 ②アンダーラインを引いた語句を発表し、その語句と一緒に確認する。 ③読む場所を決め、音読する。	・初めに自分の分からない文字や語句をはっきりさせることができるように、黙読しながらアンダーラインを引くよう指示する。〈①-2-2〉 ・本時では、自分の力で辞書で調べることも、さっと読み方や意味を教えて穴埋めに取り組むことを優先して進めていく。〈①-2-2〉
(3) 穴埋め式のワークシートに取り組む。 (4) 答えを確認する。 (5) 学習のまとめをする。 金閣は三階構造（寝殿造り・書院造り・中国式お堂）、銀閣は二階構造（書院造り・中国式お堂）で現代の生活に関係している。	・個別に再度指示を確認して一緒に読み、自力で学習を始めた児童に任せていくようにする。〈①-2-3〉 ・自分から進んで発言できたときには称賛する。〈①-1-1〉 ◎他のことに気をとられずに最後まで学習に取り組もうとする。 （観察【2－(3)】）
5 ポイント探しゲームをする。 ・京都市の地図から、教師が示したポイントを探す。 ・今日のポイントを、再度、指し示していく。	・ワークシートの記入では、必要に応じてヒントを出し、活動が滞っている時は、どの資料のどこを見ればよいのか指し示す。〈①-1-1〉 ① 自力で ② ヒントを与え ③ 資料を指し示し ④ そっと教え
6 学習を振り返る。 ・がんばりを称賛する。	・できたら教師が丸付けをし、称賛する。 ・できなかった部分は、一緒に資料を確認しながら教えていく。
7 終わりのあいさつをする。	・金閣及び銀閣の周辺地域の神社仏閣などの施設や文化遺産などの遺産を見つけ、京都市は歴史の宝庫であることを伝える。 ・自分のペースで楽しく活動できるように支援する。〈①-2-1〉
	・自分の頑張り（発表やがんばりなど）を紹介するよう声をかける。 ・がんばりを認め、達成感や自信を高めていく。「最後まで頑張って学習できたね」と声をかけ、気持ち良く教室から送り出す。